

五十嵐英之と倉地雅徳  
Igarashi Hideyuki & Kurachi Masanori

intext

北野謙  
Kitano Ken

金仁淑  
Kim Insook

佐々木卓也  
Sasaki Takuya

重症心身障害者通所施設えが  
Day Center for Severely Disabled People EGAO

武田憲昌  
Takeda Norimasa

田辺慶大  
Tanabe Yoshihiro

土方糸いとヒジカタクミ  
Hijikata Ei & Hijikata Kumi

藤本正人  
Fujimoto Masato

みんなの“鑑賞”  
“Art Appreciation” for All

八幡亜樹  
Yahata Aki

# 79億の他人

—この星に住む、すべての「わたし」へ

# 2021.9.18 SAT - 11.21 SUN

ポーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展 7.9 Billion Others — For Every “I” Living on This Planet 会場1 ポーダレス・アートミュージアムNO-MA 会場2 まちや倶楽部

滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸) 滋賀県近江八幡市仲屋町中21

開館時間 | 11:00-17:00 休催日 | 月曜日(祝日の場合は翌平日) 観覧料 | 共通券500円(450円) 一館チケット300円(250円) チケットはNO-MAで販売しています。  
※中学生以下無料 ※障害のある方と付添者1名無料 ※( )内は20名以上の団体料金

主催：ポーダレス・アートミュージアムNO-MA  
社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会  
協力：社会福祉法人さふらん会、社会福祉法人創樹会、社会福祉法人びわこ学園、MEM

ポーダレス・アートミュージアム NO-MA



# 世界人口約79億人は、 関わり合うことをやめない。

2021年現在、およそ79億の他人が、地球の上で共存しています。めいめいの身体、人種、性、思考、社会的立場——79億通りの差異は、この星の一人ひとりを、替えが効かない唯一の「わたし」たらしめています。それと同時に、その差異は「わたし」以外の人間を「他人」として分かつものでもあります。

自己と他者という越えがたい分断を前にしても、わたしたちは互いの差異を認め合ったうえで、関係を築こうとします。反対に、差異を認めず関わりを断つ、という態度が形になるとき、それは排除となるのでしょうか。目が眩むほどの他者性を前にして、共生の道を模索することも、ある一方を迫害に追いやってしまうことも、わたしたちは、どちらのことにも接しています。

世界共通の目標であるSDGsにおいては、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指しています。その一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会構造変化の劇的な速さは、それについていけない誰かを見過ごし、新たな排除を生み出しかねないものでもあります。

いかに多様であるか、いかにコミュニケーションするか——いま、世界人口約79億人は、こうした問いにさらされています。

本展「79億の他人」は、こうした問いに向き合うための企画展です。NO-MAとまちや倶楽部の2会場に展示する12組の出展者の表現は、いまの時代の「わたし」らしさや、他のすべての「わたし」を含むこの世界の79億人がともに生きることに、大事な示唆を与えてくれるでしょう。

## Living with Others めいめいのひとびと

会場1 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

北野謙  
Kitano Ken

《our face》  
近江高校野球部員42人を重ねた肖像  
2002年9月12日  
滋賀県彦根市近江高等学校グラウンド



田辺慶大  
Tanabe Yoshihiro

《いろんな兄弟ならべてみたよ》  
2015



八幡亜樹  
Yahata Aki

《Kahlek 2017》  
2017



金仁淑  
Kim Insook

《The Real Wedding Ceremony, Actors #2》  
2010



土方あいと  
ヒジカタクミ  
Hijikata Ei &  
Hijikata Kumi

あいとクミ  
(K.Art Studioで  
2011年10月に撮影)



## All Possible Communications あなたと、わたしの、あいだ

会場2 まちや倶楽部

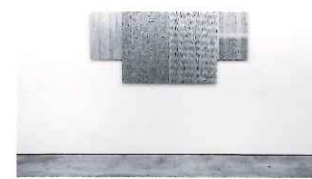
五十嵐英之と  
倉地雅徳  
Igarashi Hideyuki &  
Kurachi Masanori

交叉・対面型・相互描画法によるドローイング  
「倉地雅徳×五十嵐英之 Live with Drawing  
——人はなぜ「絵」を描き続けるのか」  
2015 (藁工ミュージアム) 展示風景より



intext

《dimensional wall》  
2018  
Photo: intext



重症心身障害者通所施設えがお  
Day Center for Severely Disabled People EGAO

池内亮介 Ikeuchi Ryosuke  
後藤大輔 Goto Daisuke  
清水希 Shimizu Nozomi  
鈴木彩華 Suzuki Ayaka  
廣部敬偉 Hirobe Takayuki

鈴木彩華 無題  
2020



みんなの“鑑賞” “Art Appreciation” for All

1. 障害者支援事業所いきいき+野原健司と考える。  
Working with Disability Support Center Ikiiki + Nohara Kenji

プロジェクトメンバー  
Project Member

河原崎未識 Kawarasaki Misato  
外山聖 Toyama Satoshi  
野原健司 Nohara Kenji  
森美菜子 Mori Minako  
安田真一郎 Yasuda Shinichiro



「みんなの“鑑賞”」は、アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会が実施する「ニューノーマル時代にアートで人をむすぶプロジェクト」の一環として行うものです。プロジェクトの詳細は裏面をご覧ください。

佐々木卓也  
Sasaki Takuya

《ゆみかちゃん》  
2001



武田憲昌  
Takeda Norimasa

無題  
制作年不詳



藤本正人  
Fujimoto Masato

『Negative capability  
-くつろいでいられる能力-』2019より  
©「ポコラート全国公募展 vol.9」  
主催：千代田区、アーツ千代田3331



2. しが盲ろう者友の会の人たちと考える。  
Working with the People of Shiga Deafblind Friends Association

プロジェクトメンバー  
Project Member

岡田昌也 Okada Masaya  
岡本克司 Okamoto Katsushi  
北川雅貴 Kitagawa Masaki  
野中美智子 Nonaka Michiko  
安川雄基 Yasukawa Yuki





# NO-MAのインスタグラムを フォローしませんか？

NO-MAのインスタグラムが始まりました。フォローして下さった方は、観覧料から100円割引します。チケット購入時にフォロー中の画面を、受付スタッフにお見せください。さらに、記事を投稿いただいた方には、ポストカードをプレゼントします。(用意がなくなり次第終了)詳しくは、会場の受付スタッフにお聞きください。

※「79億の他人」会期中のみのキャンペーンです。「ボーダレスの証明」はたよしこという衝動」展には適用されませんので、ご注意ください。



@museum\_noma

## NO-MAへのアクセス

電車、バス：JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス[長命寺線(6番のりば)]→乗車約10分→バス停[大杉町八幡山ロープウェイ口]下車→徒歩約8分→NO-MA  
車：名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA  
※駐車場に限りがありますので満車の際は有料駐車場などをご利用ください。



近江八幡駅からのルート案内動画



## お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA  
〒523-0849  
滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸)  
TEL/FAX：0748-36-5018  
Email：no-ma@lake.ocn.ne.jp  
URL：http://www.no-ma.jp

## 本展における新型コロナウイルス対応について

来場される方には、以下の対応をお願いします。

- ・体調不良(発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)の方はご来場をご遠慮いただきます。
- ・マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
- ・観覧中は、他の人と接触しない程度の間隔を確保してください。(障害のある方などの誘導、介助を行う場合は除きます)
- ・来場者が多い場合は、入場を制限させていただくことがあります。
- ・大きな声での会話はご遠慮いただきます。

主催者として、以下の新型コロナウイルス対策を徹底します。

- ・スタッフは毎日、検温・体調確認を行い健康管理に努めます。
- ・スタッフはマスク着用の上で案内します。また、こまめな手洗いを行います。
- ・館内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化します。
- ・館内は密閉した空間にならないよう、定期的な換気を行います。

## 同時開催企画

# ニューノーマル時代に アートで人をむすぶプロジェクト

## ニューノーマル時代にアートで人をむすぶプロジェクト



いま、「地域」「障害」と、アートをとおして、対話する。

「79億の他人」と同時に楽しんでいただけるアートプロジェクトです。盲ろう者や知的障害者と美術鑑賞のあり方を考える「みんなの“鑑賞”」や、近隣地域住民がゲストとなった番組を作るラジオブース風スタジオや、町の魅力に詳しい方々がガイドを務める町歩きなどを企画しています。

非接触、オンライン、といった形に人と人とのむすびつきが変わっていく中で、コロナ以降のコミュニケーションを、誰にとっても開かれたものにしていくため、いま、考え、形にしていきます。

詳しい情報は、ぜひホームページをご確認ください。



new-normal-art-project.com

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会  
令和3年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業

